

令和四年六月二十三日 信者心の基勉強会仕事編

神 示

「教え」を学び 「真理」に気付きを得て

「人生」をゆく努力をする

人々との出会いが 広がり 深まり

「人生」が楽しく 「夢」多いものとなる

仕事は 職務 職業と捉えずに 奉仕心が育む出会いと悟るべし

人々との出会いが生きるところに 職務 職業が活かされる

出会いを生かすため 人としてなすべきことを教えん

一つ 「教え」を「人生」の支えに生きる心を持つ

二つ 「教え」で家族に触れる思いを欠かない

三つ 我が「運命」の力を磨き 社会に奉仕する人を目指す

三つの実践が相まって 「実体」は高められ

「運命」の力が 我が「人生」を導き守る

その時 人は必ず 働く喜び 人に奉仕する生きがいを体感する

同時に 職務 職業の成果も大きく上がり

多くの人に高く評価される

家族で「教え」に生きて 正しい関わりを知った人は皆

奉仕心が身に付いてゆく

その奉仕心が 「運命」の力を引き出し

社会を「正道」へと導く人を育む